MIX PARK

①

コンセプト

遊園地は若者や元気な人を対象に造られたアトラクションで構成されています。

ところで、ハンディキャップを持った人が十分に楽しめる遊園地は、あるのでしょうか？
ハンディキャップにもいろいろありますが、そのような差で楽しめたり、楽しめない遊園地があるというのは残念なことです。

そこで、インターネットを使い、理想の遊園地について広く多くの意見を集めました。

インターネットの意見

しかし現状は、

宝塚ファミリーランドと神戸ポートピアランドに聞いてみました。

Q1 ハンディキャップを持っている人は、何割ぐらい来園されているのですか？
A. 宝塚 「そういうデータはおいてません。」
ポーアイ 「4月から8月分のデータしかないんですけど、大人[illegible]人、小人[illegible]人来園されました。そのうち[illegible]、[illegible]でした。」

Q2 ハンディキャップの人向けに対応するアトラクションは何種ぐらいあるんですか？
A. 宝塚 「ないですね。」
ポーアイ 「そういったアトラクションはありませんねえ。」

Q3 インフォメーションには手話のできる人はいるんですか？
A. 宝塚 「[illegible]いますが、特別にはいません。」
ポーアイ 「いません。」

Q4 車椅子用のトイレは園内に何個ぐらい設置していますか？
A. 宝塚 「6箇所あります。」
ポーアイ 「園内にトイレは全部で4箇所ございますが、そのうち3箇所に車椅子用のトイレを設置しております。」

Q5 園内に階段はどのくらいあるのですか？
A. 宝塚 「けっこうあります。でも、園内にエレベーターがございます。」
ポーアイ 「階段はほとんどないですね。」

Q6 ハンディキャップを持っている人の料金は安くなるのですか？
A. 宝塚 「団体割引はしておりますが、個人でというのはしてないです。」
ポーアイ 「4月から始めたんですけど、障害者手帳を出していただくと、大人700円・小人300円になります。付き添いの方1人も割り引きいたします。この料金は一般料金の半分です。」

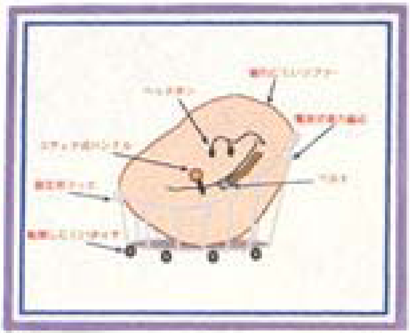
現状はインターネットで送られてきた意見のように、ハンディキャップを持つ人のために考えられたアトラクションや設備のある遊園地というのは、そう簡単には存在しません。そこで私たちは、ハンディキャップのある人たちにも楽しんでもらえる遊園地を考えました。

MIX PARK

pink story

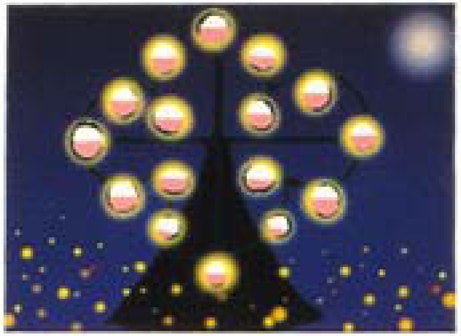
②

[illegible]



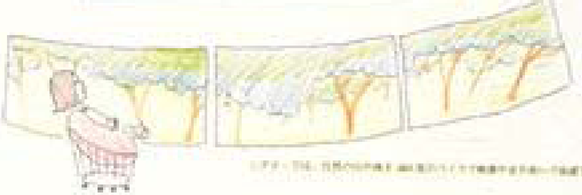
カート

[illegible]

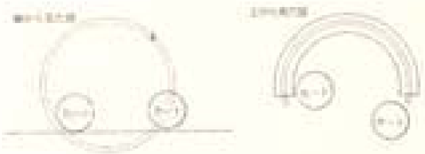


観覧車

[illegible]

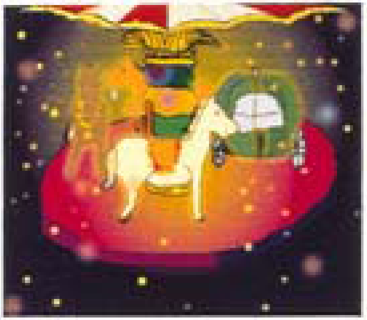


[illegible]

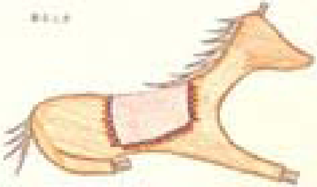


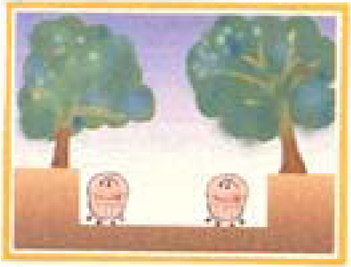
[illegible]

メリィゴーランド



[illegible]





森

[illegible]

インフォメーション

[illegible]

MIX PARK

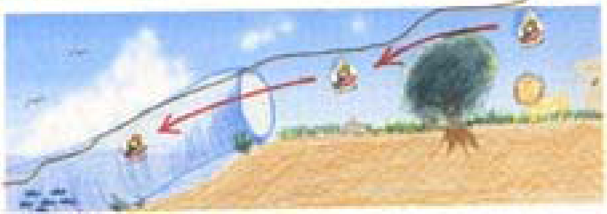
red story

このアトラクション広場は、ジェットコースターなどの怖いアトラクションが集まります。怖いアトラクションといっても絶叫マシーンというわけではありません。ハンディキャップをもった人たちも、もちろん楽しむことのできる、怖すぎずとても適度で安全なマシーンにしました。
そして、アトラクション広場の名前は green story と同様、色で統一しました。"怖い" というイメージでは "ブラック" が出てきそうですが、"ブラック" では怖すぎるので、少しでも "明るさ" が出るくる色、"red" を選びました。そしてついた名前が red story です。

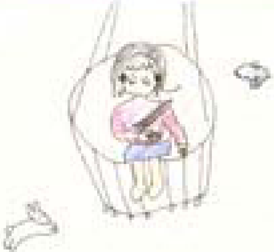
green story

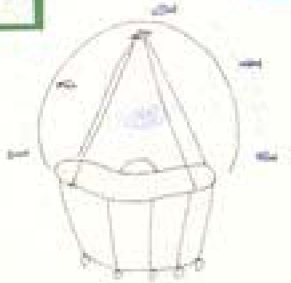
動物園、植物園、水族館の3つを合体させたのが、green storyです。ここでは、カートに乗ったまま見物する所と、カートから降りて、自然と触れ合えるところがあります。カートは、ぶらさがった状態で動きます。動・植物園の所では [illegible] ライオンのような猛獣がたくさんいるところにくると、カートは上昇し、上から見下ろす状態になり、とても安全です。そして水族館では、透明のトンネルが通り、その中に、いろいろな種類の魚が優雅に泳いでいます。カートはトンネルの中を進んでいくようになっています。このように、green storyでは、心の安らぐように "自然" をテーマにしました。

ゴンドラ

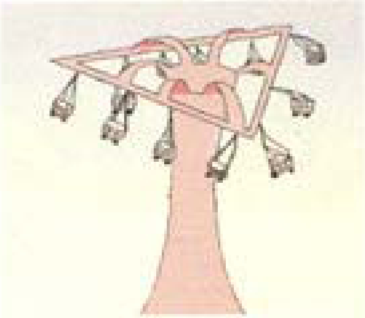


園内をくまなく巡るロープウエイ。やがて、水中に潜り、美しい珊瑚や魚を見ることができます。免許がなくてもカナヅチでも、気分は水中ダイビング！



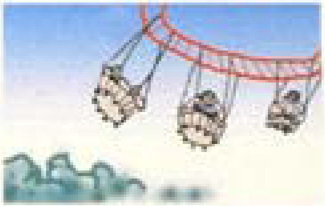


ブランコ

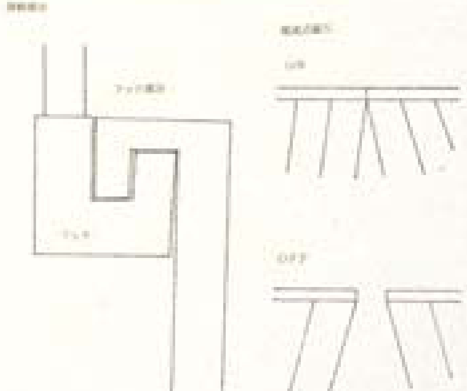


ブランコは、一人用でカートから降りる必要はありません。[illegible] 安全バーが降り、[illegible] 固定するので、安全性に優れています。[illegible]

ジェットコースター



ジェットコースターは、レールとカートをワイヤーで、結んでいます。カートは、ワイヤーにぶら下がった状態で、一回転は、危険なのでしませんが、揺れがすごく、ワイヤーが引っ張られるように揺ります。カートとカートは [illegible] で、[illegible] 楽しむことができます。ワイヤーは、まず切れる心配がありません。



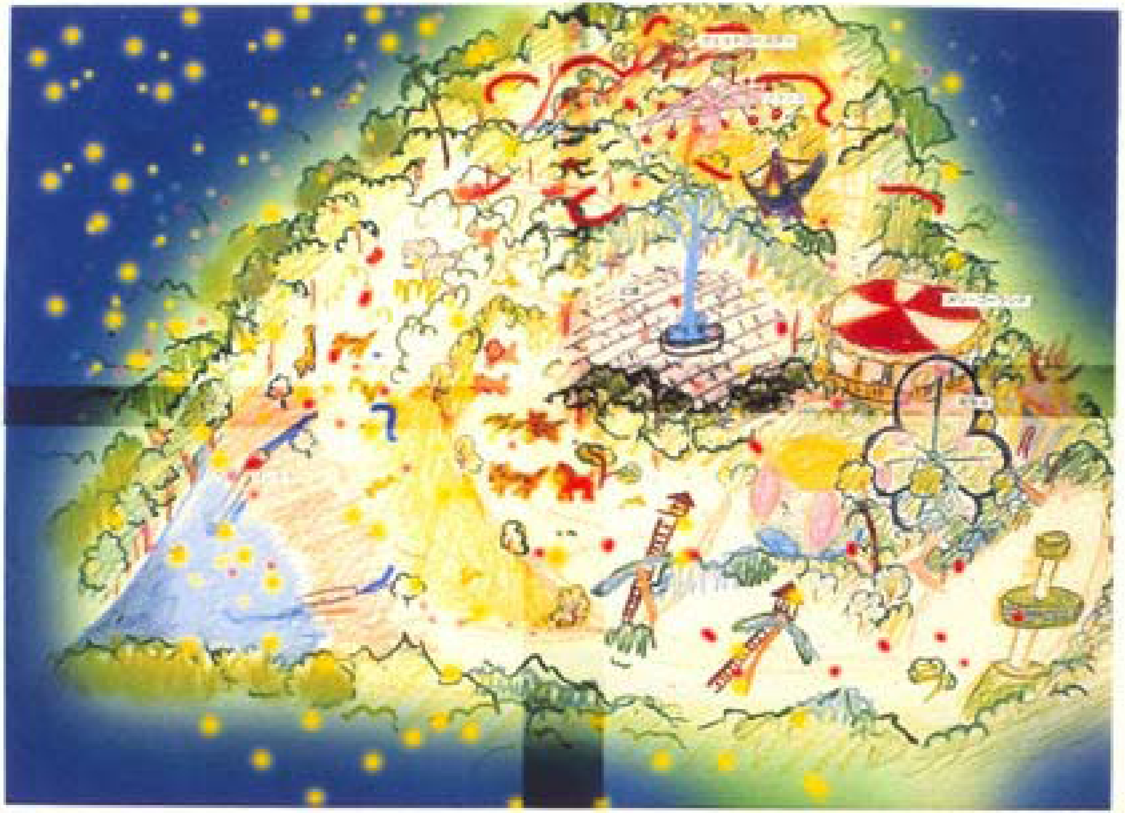
MIX PARK

ようこそ！MIX PARKへ

MIX PARKという名前には、"みんな一緒"という意味が込められています。形は心をイメージしたハートにしました。園内はほとんどカートで移動します。入園したらカートに乗り込み、pink story・red story・gran storyの好きなところを自由に行けます。

それぞれのstoryの真ん中には広場があり、そこではカートを降りてのびのびと休憩できます。それから、売店・医療施設・トイレなどは、常にわかりやすい場所があちこちに設置しており、数も豊富です。また、インフォメーションも各ストーリーごとに設置しました。もちろん手話のできる方がいます。どうぞ安心してごゆっくりお楽しみください。これが、MIX PARKです。

全体図



まとめ

ハンディキャップを持つ人のための遊園地ということで考えてきましたが、実際、一般の遊園地の現状を聞いてみると、やはり健常者が楽しめる内容のアトラクションやインフォメーションばかりでした。そこでMIX PARKは、アトラクションの乗り降りの便利さやハンディキャップを持つ人も持たない人も同じように楽しめる機能性や安全性を考えました。そしてこれからは、自然が少なくなり、身近に感じることが出来なくなってしまうと思い、今までのような機械的な遊園地ではなく自然とのふれあいを大切にした、遊園地にしました。このMIX PARKには、ハンディキャップを持っている方はもちろん健常者の方にも来園してほしいです。そしてお互いがもっと自然に接するようになれば、将来一緒に楽しめる社会が出来るのではないでしょうか？